

特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

| 評価書番号 | 評価書名 |
|-------|------------|
| 30 | 就学援助に関する事務 |

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

港区は、就学援助に関する事務において、特定個人情報の漏えいその他の事態が発生するリスクを軽減させるために適切な措置を講じることで、区民等のプライバシー等への権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

評価実施機関名

港区教育委員会

公表日

令和7年6月27日

I 関連情報

| 1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務 | |
|--------------------------|--|
| ①事務の名称 | 就学援助に関する事務 |
| ②事務の概要 | 学校教育法など関連法の規定に基づき、就学援助の認定・支給処理を行う |
| ③システムの名称 | 1学事事務システム 2システム共通基盤 3税務システム |
| 2. 特定個人情報ファイル名 | |
| 1. 就学援助ファイル | |
| 3. 個人番号の利用 | |
| 法令上の根拠 | 1 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年5月31日法律第27号)第9条第2項 2 港区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例(平成27年港区条例第28号) 第4条別表第一第17項 第5条 別表第三第4項 |
| 4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 | |
| ①実施の有無 | [実施しない] <選択肢> 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定 |
| ②法令上の根拠 | |
| 5. 評価実施機関における担当部署 | |
| ①部署 | 教育委員会事務局学校教育部学務課 |
| ②所属長の役職名 | 学務課長 |
| 6. 他の評価実施機関 | |
| — | |
| 7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求 | |
| 請求先 | 〒105-8511東京都港区芝公園1-5-25 教育委員会事務局学校教育部学務課学校運営支援係 |
| 8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ | |
| 連絡先 | 教育委員会事務局学校教育部学務課 03-3578-2730 |
| 9. 規則第9条第2項の適用 []適用した | |
| 適用した理由 | |

II しきい値判断項目

| 1. 対象人数 | |
|--|---|
| 評価対象の事務の対象人数は何人か | [1万人以上10万人未満] <選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上 |
| いつ時点の計数か | 令和6年4月1日 時点 |
| 2. 取扱者数 | |
| 特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か | [500人未満] <選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満 |
| いつ時点の計数か | 令和7年4月1日 時点 |
| 3. 重大事故 | |
| 過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか | [発生なし] <選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし |

III しきい値判断結果

| しきい値判断結果 |
|-------------------|
| 基礎項目評価の実施が義務付けられる |

IV リスク対策

| 1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類 | | |
|--|-----------|--|
| [基礎項目評価書] | | <選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書 2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。 |
| 2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。) | | |
| 目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か | [十分である] | <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている |
| 3. 特定個人情報の使用 | | |
| 目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か | [十分である] | <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている |
| 権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か | [十分である] | <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている |
| 4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託 []委託しない | | |
| 委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か | [十分である] | <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている |
| 5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) []提供・移転しない | | |
| 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か | [十分である] | <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている |
| 6. 情報提供ネットワークシステムとの接続 []接続しない(入手) []接続しない(提供) | | |
| 目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か | [十分である] | <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている |
| 不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か | [十分である] | <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている |

| 7. 特定個人情報の保管・消去 | | |
|---------------------------------|---|---|
| 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か | [十分である] | <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている |
| 8. 人手を介在させる作業 [] 人手を介在させる作業はない | | |
| 人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か | [十分である] | <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている |
| 判断の根拠 | 個人情報を取り扱うには細心の注意を図り、ダブルチェックや根拠規定の順守を徹底しているため。 | |

| 9. 監査 | |
|---|--|
| 実施の有無 | [<input type="radio"/>] 自己点検 [<input checked="" type="radio"/>] 内部監査 [<input type="radio"/>] 外部監査 |
| 10. 従業員に対する教育・啓発 | |
| 従業員に対する教育・啓発 | <input type="checkbox"/> 特に力を入れて行っている] <選択肢> <ol style="list-style-type: none"> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない |
| 11. 最も優先度が高いと考えられる対策 [<input type="checkbox"/>]全項目評価又は重点項目評価を実施する | |
| 最も優先度が高いと考えられる対策 | <input type="checkbox"/> 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策] <選択肢> <ol style="list-style-type: none"> 1) 目的外の入手が行われるリスクへの対策 2) 目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策 3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策 5) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 6) 情報提供ネットワークシステムを通じて目的外の入手が行われるリスクへの対策 7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 9) 従業員に対する教育・啓発 |
| 当該対策は十分か【再掲】 | <input type="checkbox"/> 十分である] <選択肢> <ol style="list-style-type: none"> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている |
| 判断の根拠 | 個人情報を取り扱うには細心の注意を図り、ダブルチェックや根拠規定の順守を徹底しているため。 |

変更箇所

| 変更日 | 項目 | 変更前の記載 | 変更後の記載 | 提出時期 | 提出時期に係る説明 |
|-------------|------------------------------------|---|---|------|--------------------------------|
| 平成27年12月21日 | 3.個人番号の利用 法令上の根拠 | 2 (仮)港区個人番号の利用並びに特定個人情報 の保護及び提供に関する条例 | 2 港区個人番号の利用並びに特定個人情報の 保護及び提供に関する条例(平成27年6月 | 事後 | 法律改正のため |
| 平成27年12月21日 | 4.情報提供ネットワークシステム による情報連携 | 実施しない | 実施する 1 行政手続における特定の個人を識別するた | 事前 | 特定個人情報保護委員会へ 届出をしたため |
| 平成28年4月15日 | 3.個人番号の利用 法令上の根拠 | 1 略 2 港区個人番号の利用並びに特定個人情報 | 1 略 2 港区個人番号の利用並びに特定個人情報 | 事後 | 条例改正による項番変更の ため |
| 平成28年4月15日 | 4.情報提供ネットワークシステム による情報連携 | 実施する 1 行政手続における特定の個人を識別するた | 実施しない | 事前 | 現状、情報提供ネットワー クシステムによる情報連携をし |
| 平成28年10月1日 | I 関連情報 4.情報提供ネットワークシステ | 実施しない | 実施する 1 行政手続における特定の個人を識別するた | 事前 | 情報連携開始のため |
| 平成28年10月1日 | II しきい値判断項目 1.対象 人数 2.取扱者数 いつ時点 | 平成27年3月1日時点 | 平成28年10月1日時点 | 事後 | しきい値を再確認したため |
| 平成29年4月1日 | 5.評価実施機関における担当 部署 ②所属長 | 学務課長 新井 樹夫 | 学務課長 山本 隆司 | 事後 | 人事異動に伴う変更 |
| 平成30年4月1日 | I 関連情報 5.評価実施機関 における担当部署 ①部署 | 教育委員会事務局学務課 | 教育委員会事務局学校教育部学務課 | 事後 | 組織改正に伴う変更 |
| 平成30年5月21日 | II しきい値判断項目 1.対象 人数 2.取扱者数 いつ時点 | 平成28年10月1日時点 | 平成30年4月1日時点 | 事後 | しきい値を再確認したため |
| 平成30年5月21日 | II しきい値判断項目 1.対象 人数 2.取扱者数 いつ時点 | 平成28年10月1日時点 | 平成30年4月1日時点 | 事後 | しきい値を再確認したため |
| 平成31年4月1日 | 平成31年1月版様式2に変更 | | | 事後 | 様式変更のため |
| 平成31年4月1日 | I 関連情報 5.評価実施機関 における担当部署 ②所属長 | 学務課長 山本 隆司 | 学務課長 | 事後 | 氏名記載不要となったため |
| 平成31年4月1日 | II しきい値判断項目 1.対象人数 2.取扱者数 | 平成30年4月1日時点 | 平成31年4月1日時点 | 事後 | しきい値を再確認したため |
| 平成31年4月1日 | IV リスク対策 全項目を新規記載 | | | 事後 | 様式変更のため |
| 令和2年4月1日 | II しきい値判断項目 1.対象人数 2.取扱者数 | 平成31年4月1日時点 | 令和2年4月1日時点 | 事後 | しきい値を再確認したため |
| 令和3年4月1日 | II しきい値判断項目 1.対象人数 2.取扱者数 | 令和2年4月1日時点 | 令和3年4月1日時点 | 事後 | しきい値を再確認したため |
| 令和3年6月24日 | 4.情報提供ネットワークシステム による情報連携 | 実施する 1 行政手続における特定の個人を識別するた | 実施しない | 事前 | 現状、情報提供ネットワー クシステムによる情報連携をし |
| 令和4年4月1日 | II しきい値判断項目 1.対象人数 2.取扱者数 | 令和3年4月1日時点 | 令和4年4月1日時点 | 事後 | しきい値を再確認したため |
| 令和5年6月21日 | I 関連情報 3.個人番号の利 用 法令上の根拠 | 2 港区個人番号の利用並びに特定個人情報 の保護及び提供に関する条例(平成27年港区 | 2 港区個人番号の利用及び特定個人情報の 提供に関する条例(平成27年港区条例第28 | 事後 | 条例改正のため |
| 令和5年6月21日 | II しきい値判断項目 1.対象人数 2.取扱者数 | 令和4年4月1日時点 | 令和5年4月1日時点 | 事後 | しきい値を再確認したため |
| 令和6年6月21日 | II しきい値判断項目 1.対象人数 2.取扱者数 | 令和5年4月1日時点 | 令和6年4月1日時点 | 事後 | しきい値を再確認したため |
| 令和7年5月30日 | II しきい値判断項目 1.対象人数 2.取扱者数 | 令和6年4月1日時点 | 令和7年4月1日時点 | 事後 | しきい値を再確認したため |